

所在地 大阪市旭区中宮1-8-14

電話番号 06-6953-0800

校長名 原 雅史

標準服の有無 有



学校の概要

本校は、令和4年度創立80周年を迎えた伝統のある学校です。スマイルキッズ（異学年縦割り班活動）の推進、「遊びの広場」や城北公園への「ウオークラリー」等、仲間づくりを積極的・計画的に進めています。さらに、教育活動の様々な場面に「学び合い」を設定し、全ての子どもがともに学び合うことを通して、主体的、対話的で深い学びのある授業をめざしています。

学校ホームページ

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e681514>

大阪市立大宮西小学校



携帯サイト

主な学校行事

- 4月…1年生を迎える会、引き渡し訓練、家庭訪問
- 5月…スマイルキッズ編成、学習参観・懇談会、校外学習
- 6月…遊びの広場、プール水泳開始、日曜参観
- 7月…期末個人懇談会、林間学習（5年）
- 8月…学校図書館開放
- 9月…老人会とのふれあい
- 10月…運動会、お話し、修学旅行（6年）
- 11月…ウオークラリー、芸術鑑賞
- 12月…期末個人懇談会、作品展
- 1月…学校保健委員会、卒業遠足
- 2月…学習参観・懇談会、土曜授業（防災教育）
- 3月…卒業を祝う会、卒業茶話会



児童数、学級数（令和7年5月1日現在）

学年	男子	女子	計	学級数
1	18	17	35	1
2	27	14	41	2
3	15	10	25	1
4	17	18	35	1
5	17	27	44	2
6	23	20	43	2
特別支援学級				5

学校公開・説明会 日程

●学校公開／ 9月11日（木） 13:30～14:15
10月8日（水） 13:30～14:15

●学校説明会／ 9月11日（木） 14:30～15:00
10月8日（水） 14:30～15:00

*参加にあたっては必ず12・13ページをご確認ください。

通学区域以外からの就学について

- 集団登校／無
- 通学のルール／保護者が学校まで送り迎えする。



全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査

令和6年度全国学力・学習状況調査

国語	算数
66%	63%

- 結果の概要／平均正答率は、全国平均と比べて、国語が1.7ポイント、算数が0.4ポイント下回ったものの、大阪市の平均と比べて、国語は平均と同じポイント、算数が1.0ポイント上回っていた。昨年度の全国平均との差と比較すると、国語は8.5ポイント、算数は13.1ポイント向上した。
- 取組の成果／【国語】国語科を中心に書くことの工夫を行ってきた結果、児童は自分の考えを記述できるようになってきていることが分かる。【算数】平均正答率を全国平均と比べると、【思考力、判断力、表現力等】は1.2ポイント上回っている。
- 今後の取り組むべき課題／【国語】必要な情報を取り出すことや表現の効果を考えることには課題が見られる。【算数】深い理解を伴う知識の習得やその活用には課題が見られた。データの言葉と数を活用して自分の考えを表現することにも課題が見られる。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（平均値）

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回)	10mシャトルラン (秒)	50m走 (秒)	立ち幅踏み跳び (cm)	ソフトボール投げ (m)	体力合計点
男子	17.50	22.65	30.29	38.36	46.30	9.34	151.60	21.35	54.10
女子	16.63	21.39	35.58	36.16	41.11	9.51	117.68	13.61	52.88

- 結果の概要／体力合計点を全国の前年度と比較すると、男子は1.57点上回っている。女子は、1.04点下回っている。
- 取組の成果／体幹遊びを授業の中で継続的に実施したことにより、上体起こしが男子、女子ともに全国の前年度を大きく上回っている。
- 今後の取り組むべき課題／男子、女子ともに反復横跳びや立ち幅跳びの平均値が全国より下回っており、調整力や跳躍力に課題がみられる。

令和7年度 大宮西小学校 学校教育目標

全ての子どもの学びを保障し、生きる力を育む授業づくり

「学ぶ力」を伸ばす学校

■「全ての子ども」がともに学び合うように

「全ての子ども」を私たちは受け止めます。学習の苦手な子ども、日本語を母語としていない子ども、障がいの有無などに関わらず、一つ教室の中で互いに支え合いながら「学ぶことが好きな子ども」に育てていきます。

■学び合いによる、確かな「学びを保障」

「子どもが学ぶ」ことを中心とする授業を行います。教師が教え込むよりも、世界で主流となっている子どもどうしの「学び合い」に重点を置いた授業を行い子どもの学ぶ力を育みます。このために、教師は入念な準備を行い、よき課題の提示ときめ細やかな観察で子どもどうしを繋ぎながら、夢中になって学び合う教室をつくっていきます。

■新学習指導要領に準拠した授業づくり

新学習指導要領は「主体的、対話的で深い学び」のある授業をつくることを指示しています。本校でも、子どもが主体的に学びに向かい、子どもどうしが課題について対話を重ね、深い学びに向かっていくような授業をつくっていきます。

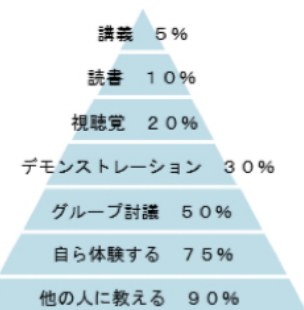
Q&A

Q. 本当に子ども同士の学び合いで、学力がつくのですか？

A. はい。教師による講義型授業では右図のように半年後の記憶の定着は5%となっています。子ども同士が対話したり教え合ったりするアクティブラーニングな授業こそが最も学力の向上につながります。

Q. 大宮西小は児童数が少な過ぎて、競争原理が働かないのでは？

A. そうですね。ただ、学力を伸ばすには、競争よりも「協力」した方がいいことは、フィンランドの教育改革の成功例でも証明されています。大宮西小では子どもどうしの心のケア（絆）を授業の中心に置きながら学力の向上を図ります。



出典：アメリカ国立訓練研究所の「平均学習定着率調査」から

校長先生からの1POINT



良い授業を求めて各地をたずね歩いた私が、満を持して最高の授業を行う学校をつくりたいと考えています。「一人もひとりにしない」授業と楽しい学校行事で、生きる力、学ぶ力をいっしょに身に着けませんか！